

令和7年
2025年

9月10日
水曜日

第11791号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】 株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



大阪市場全日本豚枝肉コンクールが開催された……P5

- ▶【9月の相場見通し】牛肉……P2
- ▶【9月の相場見通し】豚肉……P3
- ▶越境性動物疾病防疫強化推進会議、鳥フルなどの防疫対策を説明—農水省……P4~5
- ▶大阪市場全日本豚枝肉コンクール、名誉賞は日吉ファームが受賞……P5
- ▶米国で鳥フル、家禽肉など輸入一時停止……P5
- ▶7月末全国牛飼養頭数計372万頭で減少—個体識別記録……P6
- ▶渡り鳥の飛来時期における鳥フル防疫対策の徹底を都道府県知事に通知—農水省消費・安全局……P6

注目のヘッドライン

【9月の相場見通し】牛肉、豚肉
…詳細はP2~3

越境性動物疾病防疫強化推進会議、鳥フルなどの防疫対策を説明—農水省

農水省は8日、令和7年度越境性動物疾病防疫強化推進会議を開催し、最近の家畜衛生をめぐる情勢などについて報告を行った。

…詳細はP4~5

- ▶[鶏肉需給動向・7月] 推定出回り量は前年同月比1.1%増……P7
- ▶[POSランク7月洋総菜製品]「イシイのおべんとクン」が首位……P7
- ▶[資料]日本食肉流通センター週間市況〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉……P8
- ▶洋総菜製品7月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……P9
- ▶[東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]9日……P10
- ▶[各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]9日……P11

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

【9月の相場見通し】牛肉

【牛枝肉】交雑牛8月並み、和牛4等級底堅い

【東京】9月の東京市場の上場は昨年より多い7400頭が計画されている。改修工事を行ったため、頭数調整が行われた昨年より多いが、今年は開場日も多いため、1日当たりの上場は昨年並みか。牛肉の消費環境は弱く、中旬以降相場は下落、ほぼ底値に。一方で、alicの需給予測によると全国出荷頭数は、和牛、乳牛は前年同月を4～5%下回り、交雑牛は8・7%上回ると予測。交雑牛は和牛の代替、乳牛の品不足から8月よりは落ち着くものの、堅調な相場が予想される。和牛は、月前半は相場を保つか、やや上げてくるだろう。月後半になり、産地フェアなどが始まれば動きが出てくるか。一方、乳牛は経産の高騰が拍車を掛け、異常な相場が続いている。

【大阪】今年は和牛の需要低迷が顕著にみられているが、これは大阪だけではなく全国的な傾向といえる。特に5等級は価格差が激しく、BMSが高くては価格が付かなかつたり、4等級価格を下回るものもみられるなど、状況は引き続き良くない。逆に4等級は低価格の和牛需要として一定の引き合いがみられており、底堅い相場を形成している。

9月からは秋シーズンに向けた仕入れが見込まれるとはいえ、8月同様、特段の引き合いはないとみられる。ただ、状況は良くないものの、年末に向けた手当てが少しずつ始まることから、9月の価格は緩やかに上昇し、8月の一段高になると見込まれる。

【福岡】物価上昇で消費者の節約志向は根強いですが、猛暑日の影響で敬遠気味の焼き肉商材も9月以降は気温も和らぎ、一定の需要が期待されている。和牛の相場基調は8月水準のほぼもちあい。展開は人気銘柄や産地、上場頭数次第でまちまちか。交雑牛は上場頭数が少なく、値動きは8月水準からほぼ横ばいとみる。月平均予測は和牛A5等級で2400～2500円、A4等級で2050～2150円、交雑牛はB3等級で1600円。人気の和牛経産はA2～A3で1450～1550円とみる。

【牛部分肉】切り落とし材が先行、月後半の手当ては鈍る

【関東】暑さが和らげば、焼き肉、バーベキューの回復が期待できるが、9月も30℃を超える日が続く

予想されており、台風シーズンに入るのも懸念材料。シルバーウィークも、あまり期待はできないか。卸の一部では交雑牛のロイン系の唱え値を下げている。例年であれば、月後半からはスライス材などが動き出し、価格も上向いてくるが、暑さで量販店などでの棚替えがずれ込み、回復が遅くなることを懸念する声もきかれた。

【関西】9月の秋シーズンに入ったことで、部分肉では売れ筋がスライスに切り替わる時期となる。和牛については、今年は8月までの売れ行きが芳しくなく、切り落とし材が先行し、焼き肉売り場でもバラ系が伸び悩む事態となっており、食シーンの提案が難しくなっている。こうした中であっては、スライスの時期に入ったからスライスが安直に提案できるというものでもなく、夏場にためたロースやカタロースの冷凍在庫も豊富な中、まだまだ切り落としが先行する引き合いとなりそうだ。交雑牛も切り落としが先行するが、和牛の代替需要で一定の引き合いは見込まれる。乳牛は供給なく在庫なし。

【輸入牛肉】豪州産のスソ物動く

豪州産チルドはスソ物を中心とした引き合い。引き続き、高価格部位は逼迫感があり、新規注文に対応できないといった声もきかれる。値頃感を打ち出せる価格ではないため、現地仕入れも慎重となっている。米国産も荷動き好調とはいえないが、外食向けの引き合いは堅調だ。量販店では牛肉から他畜種へとシフトが進んでおり、バラ系の販売は量販店向けではなく、焼き肉店やステーキハウスなど外食店が中心。特に外食の客数が伸びていることが背景にある。これを受けて米国産牛肉では一定の引き合いが維持できているようだ。また、入船遅れで通関切れのタイミングが9月にずれ込むことから、現状では各部位の余剰感は大きくない。逆に9月は入船に偏りが出てくることから、一時的な投げ物が発生する可能性も。

豪州産フローズンはトリミング中心の引き合い。加工原料や量販店のひき材、それぞれ需要が高まっている。米国産フローズンは全体的に動きが鈍いものの、卸筋では現状が底値であるという見方が強く、9月中の相場上昇があるか。

【9月の相場見通し】豚肉

【豚枝肉】600円台後半で推移か、上場頭数伸び悩み続く

【東京】9月も、全国的に連日酷暑が続いている。肉豚の種付けや生育の不良により、出荷の遅れや上物率の低下もみられる一方、末端消費は振るわず、需要は低調。出荷頭数が大きく増えているわけではないものの、7月下旬から枝肉相場は軟調に推移しており、8月はおおむね600円台の展開となった。

農水省の肉豚生産出荷予測(8月21日発表)によると、9月は128万9千頭と前年同月比1%増としているが、平年比では3%減の予測。7~9月では前年同期比4%減、平年比7%減と、いずれも減少する予測だ。

9月以降も残暑は厳しく、出荷頭数も多くはないとみられるが、引き続き600円台でもちあうか。

【大阪】例年以上の猛暑の影響もあって肉豚の生育・出荷に遅延がみられている。いずれの市場も集荷に苦戦しており、上場頭数がそろってこない。大阪市場も同様で、特に「上」の格付豚が少ないことから、競り合いになって価格が上昇することも多い。

9月に入れば気温も少し落ち着き、上場も回復してくるとみられるが、まだまだ残暑が厳しいことから簡単には増えてこないだろう。このため、しばらく価格の高止まりが続くそう。8月の弱もちあいか。

【福岡】残暑の影響に伴う出荷適齢豚の成育不足で供給事情は不安定だ。9月も同様に出荷の遅延や乱れが懸念される他、相場の高値疲れから消費減少も不安視される。相場の先行きは不透明だが、例年同様に8月の一段安とみる。秋の出荷頭数増に加え、残暑で成育遅れの豚が出荷適期となり供給数が増えるため。展開は先行指標の関東市場に追随し月平均は600円台後半か。

【豚部分肉】ロース、バラは高値圏、スソ物中心の荷動きに

【関東】8月は低調な荷動きが続いていたロイン系やバラなどの中部位だが、旧盆商戦向けの手当てなども一部でみられた。とはいえ、末端消費自体はそれほど振るわず、全体的にみると荷動きは鈍かった。

9月はスペアリブなどの季節商材の荷動きも鈍化が予想されている半面、学校給食の再開により、ウデやモモについては堅調な荷動きとなりそう。冷凍品も同様であり、スソ物は底堅い相場が継続する一方、中部位の荷動きは鈍いか。以前は9月に入ると、量販店の店頭でも鍋物提案が始まる時期であったが、ここ数年の猛暑の影響で鍋物提案の時期が後ろ倒しになってきている。

【関西】連日の猛暑で全国出荷頭数は引き続き低調に推移。そのため需給はタイトな状況が続いており、中部位中心にしっかりした展開が続く。

外食、量販店向け共に盆明けで多少売れ行きは鈍っているが、各社とも比較的うまく回せているようで投げが出るほどではない。残暑も長引きそうでロース、バラは高値圏での推移が続くそう。ヒレは変わらず。ウデ、モモは夏休み期間中ということもあり、動きは低調で相場も下落していたが、秋口にかけてやや反転するか。

いずれにせよ需給の緩みは少なく、相場・荷動き共に堅調な動きが続くそう。

【輸入豚肉】チルドはやや緩む、フローズン全体に鈍い

国産豚枝肉相場は7月下旬以降、やや軟調に推移しており、輸入ポークへの代替需要も限定的になっている。

輸入チルドポークは北米からの入船遅れなどが発生したこともあり、一部アイテムでは逼迫感^{ひっぼく}もみられたが、末端の荷動きが芳しくないこともあり、現状の荷動きは落ち着いている。9月も大きく需給が緩むことはないものの、需要の端境期でもあることから荷動きはそれほど変わらないとみる。

フローズンポークは依然としてブラジル産などの在庫量は積み上がっており、冷凍倉庫の庫腹にも逼迫感がみられる。残暑が厳しい中で鍋物提案などが本格化してくるのはまだ先になると予想され、ベリーなどの解凍スライス品にはそれなりに引き合いがみられるものの、全体的な荷動きは鈍いか。

越境性動物疾病防疫強化推進会議、鳥フルなどの防疫対策を説明―農水省

農水省は8日、令和7年度越境性動物疾病防疫強化推進会議を開催し、最近の家畜衛生をめぐる情勢などについて報告を行った。

消費・安全局動物衛生課の沖田賢治課長が越境性動物疾病の発生状況・防疫対策などについて説明した。

【鳥インフルエンザ】令和6年シーズンにおける鳥インフルエンザの発生状況において、6年シーズンの初動は、家禽では過去最多の発生となった4年シーズンに匹敵するペースで発生。その後、7年1月に発生が急増し、とくに愛知、千葉、岩手3県の養鶏の集中地域における連続発生が顕著であった。例年、1月がトップシーズンである中、6年シーズンは月間34事例発生・648万羽殺処分と、1月としては過去最多を記録。一方、2月1日を最後に発生がなかった。

農水省ではこれらを踏まえ、この状況について危機感を共有するとともに、これ以上の拡大を防ぐため、緊急消毒の実施や早期通報の徹底、養鶏集中地域における対策の再点検など、地域でのまん延を防ぐための取り組みに万全を期すべく対策を徹底した。とくに、愛知や千葉においては、晴天が続く季節風が強く吹いたことにより、ほこりや羽毛などが舞うことで発生が広がった可能性が高かったことから、緊急消毒の実施時は、消石灰による消毒に加え、液状消毒液の散布による消毒を徹底。

また、今シーズンの発生事例では、100羽以上の死亡がみられるまで通報がなされなかった事例や、農場から都道府県家保への通報後、国への通報まで時間を要した事例が散見されたため、特定症状に限らず、異状がみられれば即通報することを呼びかけた。

大規模農場、再発農場だけでなく、養鶏の集中地域における再点検も重要であるとし、愛知県では、疫学の専門家による現地調査と、これを踏まえた現地対策会議を開催。実情を踏まえたさらに効果的な対策を検討し、その中では、不織布シートなどの緊急的導入による入気・塵埃対策が、病原体の侵入防止対策として有効と示唆。このような知見も活用したまん延防止対策の実施強化が重要であるとし

た。

鳥インフルエンザワクチンについては、感染を完全に防御できず、感染した場合に症状がみえにくくなり発見が遅れるとともに、微量ながらもウイルスを排出するため、感染拡大やウイルス変異の原因となるなどの課題があり、効果の半面、予防的に使用することは困難であるとされてきた。一方、国際的には、予防効果の高い新たなワクチンの開発がみられ、欧米諸国でも、接種に向けた検討の動きがあり、わが国においても、接種に対する具体的検討を進めるため、技術検討会を設置し、検討を開始した。

来シーズンに向けて、農水省では鳥インフルエンザ対策パッケージを打ち出した。パッケージでは、「飼養衛生管理の強化」として、養鶏集中地域や過去続発地域をあらかじめ指定し、地域ぐるみでの野鳥対策や発生時の速やかな消毒対応などを実施、塵埃対策などを飼養衛生管理基準に新たに位置付ける等など、「分割管理の推進」として、大規模農家での分割管理の検討の義務付けなど、「ワクチン接種の検討」として、予防的ワクチン接種の導入に向けた検討を開始すること等が盛り込まれている。

【豚熱】豚熱の発生については、19年10月にワクチン接種開始。以降、発生は散発的となったが、7年は群馬県で4例(95・96・98・99例目)、千葉県で1例(97例目・初発)発生(6月末時点)と、ワクチン接種を行った県でも発生がみられている。とくに、野生猪からのウイルスの侵入があることから、飼養衛生管理を徹底するとともに、ワクチンの適時適切な接種をすることが重要である。

野生猪においては、5年8月、佐賀県の飼養豚2農場で、九州で初めて発生。その後、6年6月には佐賀県、7年2月には長崎県、同年4月には宮崎県、同年8月には福岡県の野生猪でも感染が確認されている。そのため、感染確認県においては順次経口ワクチンの散布を開始。鹿児島県、大分県においては、野生猪で感染事例は未確認であるものの、周辺の発生状況を踏まえ、経口ワクチン散布の実施を決定。今後、準備が整い次第、経口ワクチンの散布を開始することを決定した。

こうした中、7年6月には豚熱清浄化ロードマップを策定。マーカーワクチンを早期に実用化し、これに切り替え、飼養豚での感染がない状態を確保し、「豚熱清浄国ステータス」を回復することを示している。マーカーワクチンは、現行ワクチン株の遺伝子の一部を別のウイルス遺伝子と置換し、この部分に対する豚の免疫反応の違いを検出することにより、ワクチン接種動物と野外株感染動物の区別を可能とするワクチンで、7年度以降は、研究事業において候補株の有効性などの検証を行い、早期の実用化を図ることとしている。さらに、将来的には、野生猪の感染の縮小が可能となれば、猪の感染リスクがない地域から飼養豚のワクチン接種を中止し、全国でのワクチン接種の中止(完全な清浄化)を目指す。

【アフリカ豚熱】平成30年8月に中国においてアジア初の発生。その後、韓国、ベトナムをはじめ、ア

ジア全域に感染が拡大。とくに韓国では、令和元年9月の発生確認以来、飼養豚・野生猪共に徐々に感染が拡大し、5年12月には、釜山広域市の野生猪で感染を確認(直近では飼養豚および野生猪で7年7月に感染確認)。東アジアでアフリカ豚熱が発生していないのは、日本と台湾のみという状況だ。

日本においては、訪日外客数の増加により、違反品の持ち込みが著しく増加。組織的かつ反復した、悪質と思われる事例も顕在化しており、動植物検疫の強化に向け、「水際検疫の強化に向けた検討会」において、水際強化策の具体化・関係行政機関との連携強化を議論。

水際におけるさらなる侵入防止対策の強化が重要であるとし、検討会の議論を踏まえ、法制度面も含め、強化策の具体化に着手していく。

大阪市場全日本豚枝肉コンクール、名誉賞は日吉ファームが受賞

第65回農林水産祭参加表彰行事第13回全日本豚枝肉コンクールが5日、大阪市中央卸売市場南港市場で開催された。同豚枝肉コンクールは、西日本各地の養豚農家から集荷した豚枝肉が一堂に介する豚枝肉品評会。今年も1府5県8農場から厳選された135頭の高品質な豚枝肉が出品され、厳正なる審査の結果、京都府の(有)日吉ファーム(写真)の出品枝肉が名誉賞に選出された。名誉賞の枝肉は「極上」に格付され、枝肉競りでは(株)ミートプラザタカノがキロ当たり2千円で買い受けるなど、生産者を盛り立てようと高値落札が頻発し、活況を呈した。名誉賞以外の入賞牛の出品者、価格、購買者は以下のとおり。

最優秀賞1席=丸永(株)三田農場、1501円、伊勢屋▷最優秀賞2席=日吉ファーム、1025円、(株)加納

フーズ▷優秀賞=とよさ(株)、600円、伊勢屋▷同=(株)大里畜産、604円、同▷優良賞=岡山JA畜産(株)吉備農場、711円、同▷同=丸永三田農場、682円、同▷同=(株)村田商店、615円、丸富精肉店



米国で鳥フル、家禽肉など輸入一時停止

農水省動物検疫所は、米国の家禽飼養施設で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、ジョージア州ヘンリー郡地域から輸出される生き

た家禽、家禽肉等については、5日から輸入を一時停止している。

7月末全国牛飼養頭数計372万頭で減少—個体識別記録

家畜改良センターが発表した2025年7月末の全国牛個体識別記録によると、全国の飼養頭数は372万3200頭(前年同月比2・9%減)と減り、前月比でも1万9945頭減少した。

品種別にみると、黒毛和種は計169万4908頭(4・1%減)と前年を下回り、前月比でも1万5901頭の減少。雄(去勢)は61万4530頭(3・2%減)、雌は108万378頭(4・6%減)となった。また、交雑種は計52万4176頭(3・6%減)と前年を下回り、前

月に比べると3940頭減。雄は26万8791頭(3・8%減)、雌は25万5385頭(3・3%減)となった。ホルスタイン種は計144万8495頭(1・3%減)となり、前月からは35頭増。雄は16万7646頭(5・6%減)と減少が続き、雌も128万849頭(0・7%減)で前年割れとなった。また、褐毛和種は計2万1950頭(1・9%減)、肉専用種は計5136頭(2・8%減)で減少となった。

全国の牛の種別・性別の飼養頭数(各月末時点)

年月	ホルスタイン種			交雑種(肉専用種×乳用種)			黒毛和種			褐毛和種			日本短角種	肉専用種	その他	総計
	雄	雌	計	雄	雌	計	雄	雌	計	雄	雌	計				
令和6年9月	179,024	1,289,204	1,468,228	282,900	267,320	550,220	637,244	1,129,161	1,766,405	6,774	15,491	22,265	6,178	5,190	18	3,841,182
10月	178,607	1,283,888	1,462,495	284,194	268,844	553,038	637,917	1,126,092	1,764,009	6,726	15,482	22,208	5,668	5,169	16	3,835,195
11月	176,563	1,280,902	1,457,465	282,572	266,869	549,441	628,397	1,115,031	1,743,428	6,719	15,502	22,221	5,711	5,156	16	3,806,021
12月	176,629	1,282,127	1,458,756	281,922	267,006	548,928	626,096	1,110,227	1,736,323	6,684	15,536	22,220	5,635	5,113	17	3,799,493
令和7年1月	176,822	1,283,262	1,460,084	282,794	267,332	550,126	625,838	1,106,919	1,732,757	6,623	15,505	22,128	5,578	5,071	16	3,798,206
2月	174,782	1,284,243	1,459,025	281,166	265,960	547,126	626,139	1,104,983	1,731,122	6,634	15,439	22,073	5,580	5,103	16	3,792,415
3月	173,750	1,284,680	1,458,430	279,764	265,243	545,007	622,966	1,099,761	1,722,727	6,681	15,444	22,125	5,580	5,064	16	3,781,429
4月	171,596	1,281,946	1,453,542	276,191	262,370	538,561	622,449	1,096,768	1,719,217	6,700	15,487	22,187	5,788	5,063	16	3,766,737
5月	169,727	1,279,602	1,449,329	274,068	260,160	534,228	622,397	1,093,005	1,715,402	6,783	15,452	22,235	5,465	5,081	16	3,754,157
6月	167,857	1,280,603	1,448,460	271,043	257,073	528,116	621,278	1,089,531	1,710,809	6,685	15,469	22,154	6,062	5,083	16	3,743,145
7月	167,646	1,280,849	1,448,495	268,791	255,385	524,176	614,530	1,080,378	1,694,908	6,563	15,387	21,950	5,943	5,136	16	3,723,200
前年比	94.4%	99.3%	98.7%	96.2%	96.7%	96.4%	96.8%	95.4%	95.9%	96.8%	98.7%	98.1%	92.2%	97.2%	88.9%	97.1%

※総計には、ジャージー、乳用種、無角和種、黒毛和種×褐毛和種、和種間交雑種を含む

渡り鳥の飛来時期における鳥フル防疫対策の徹底を都道府県知事に通知 農水省消費・安全局

農水省消費・安全局長はこのほど、本格的な渡り鳥の飛来時期を迎えるに当たり、各都道府県知事に対し、高病原性鳥インフルエンザの防疫対策の徹底に関する通知を発出した。

通知書では、本年も10月から来年5月までは警戒を強める必要があるところ、近年の発生状況に鑑み、特に本年11月から来年1月までは重点対策期間とし

て対策の徹底を図る必要があるとし、家禽飼養農場における異状の早期発見・早期通報、再発・密集地域における指導の強化、家禽の羽数が多く監視伝染病が発生した場合の殺処分などに多大な時間を要すると都道府県知事が認める大規模農場における対策等について注意を呼びかけている。

【鶏肉需給動向・7月】 推定出回り量は前年同月比1・1%増

農畜産業振興機構が発表した7月分の鶏肉需給動向によると、推定出回り量は19万9343t(前年同月比1・1%増)と、前年同月から増加した。このうち国産品は14万1373t(0・3%増)、輸入品は5万2970t(3・4%増)となった。

また、国内生産量は14万2858t(2・2%増)、輸入量は4万8245t(6・8%減)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が3万1278t(11・8%減)、輸入品が12万4093t(7・1%減)で合計15万5371t(8・1%減)となった。

【鶏肉需給】

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入物	国産物	輸入物	国産物
5年 3	139,306(98.7)	47,412(108.8)	119,503(102.8)	27,547(87.9)	54,762(104.5)	138,808(97.5)
5	142,849(102.8)	51,717(121.7)	127,502(110.2)	29,343(94.2)	43,718(101.5)	141,053(101.4)
6	141,735(100.9)	57,706(110.6)	133,613(112.2)	28,598(93.7)	51,595(105.7)	142,480(101.0)
7	133,663(100.5)	46,686(102.3)	129,613(107.0)	30,604(106.0)	50,686(116.4)	131,657(97.8)
8	133,703(100.4)	55,955(118.1)	133,334(110.0)	31,998(112.3)	52,234(110.5)	132,309(99.1)
9	135,797(100.3)	48,372(103.4)	132,497(109.3)	30,049(116.3)	49,209(105.2)	137,746(99.8)
10	145,552(100.5)	47,805(88.6)	130,926(102.7)	29,754(118.0)	49,376(103.6)	145,847(100.3)
11	146,801(101.8)	39,181(78.7)	119,960(92.3)	30,873(132.1)	50,147(105.9)	145,682(99.7)
12	155,398(101.5)	50,981(115.1)	115,660(93.1)	33,551(136.1)	55,281(110.5)	152,720(100.6)
6年 1	140,093(102.0)	54,687(123.3)	125,877(100.2)	31,152(127.5)	44,470(103.5)	142,492(103.5)
2	144,552(108.0)	55,395(117.6)	124,137(96.9)	34,868(139.6)	57,135(128.1)	140,836(105.6)
3	143,802(100.4)	52,670(110.8)	129,110(101.8)	36,868(136.3)	47,697(97.7)	141,802(100.5)
4	146,411(104.8)	52,006(109.7)	127,057(106.3)	35,506(128.9)	54,059(98.7)	147,773(106.2)
5	147,168(103.0)	53,259(103.0)	131,041(102.8)	36,263(123.6)	49,275(112.7)	146,411(103.8)
6	143,169(101.0)	49,373(85.6)	133,066(99.6)	36,708(128.4)	47,348(91.8)	142,724(100.2)
7	139,722(104.5)	51,778(110.9)	133,594(103.1)	35,468(115.9)	51,250(101.1)	140,962(107.1)
8	130,029(97.3)	56,697(101.3)	137,941(103.5)	35,094(109.7)	52,350(100.2)	130,403(98.6)
9	135,916(100.1)	49,125(101.6)	136,518(103.0)	33,154(110.3)	50,548(102.7)	137,856(100.1)
10	147,681(101.5)	62,323(130.4)	141,112(107.8)	32,202(108.2)	57,729(116.9)	148,633(101.9)
11	144,235(98.3)	51,967(132.6)	139,323(116.1)	30,780(99.7)	53,756(107.2)	145,657(100.0)
12	154,393(99.4)	49,932(97.9)	134,940(116.7)	29,565(88.1)	54,315(98.3)	155,608(101.9)
7年 1	139,100(99.3)	52,300(95.6)	139,154(110.5)	26,258(84.3)	48,086(108.1)	142,407(99.9)
2	136,695(94.6)	47,691(86.1)	139,214(112.1)	25,720(73.8)	47,631(83.4)	137,233(97.4)
3	146,506(101.9)	42,303(80.3)	131,242(101.7)	25,771(69.9)	50,275(105.4)	146,455(103.3)
4	148,548(101.5)	47,714(91.7)	127,432(100.3)	24,973(70.3)	51,524(95.3)	149,346(101.1)
5	146,331(99.4)	48,537(91.1)	128,174(97.8)	26,982(74.4)	47,795(97.0)	144,322(98.6)
6	141,698(99.0)	51,556(104.4)	128,818(96.8)	29,793(81.2)	50,912(107.5)	138,887(97.3)
7	142,858(102.2)	48,245(93.2)	124,093(92.9)	31,278(88.2)	52,970(103.4)	141,373(100.3)

【POSランク7月洋総菜製品】「イシイのおべんとクン」が首位

(株)KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した7月POS/洋総菜製品売れ筋ランキングによると、石井食品「イシイのおべんとクン ミートボール」(120g×2)が首位だった。

2位は日本ハム「石窯工房 マルゲリータミニピ

ザ」、3位は日本ハム「とろける4種チーズハンバーグ」(246g)、4位は伊藤ハム「ピザガーデンマルゲリータ1P」、5位は日本ハム「石窯工房 あら挽きソーセージ 3枚」だった。対象店舗1069店舗の総販売金額は5億449万3961円。

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年8月24日～8月30日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

和牛チルド「4等級」		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量		
		首都圏	カタロース	3,380	3,996	4,600		3,990	8,561	近畿圏	3,456	3,708	4,212	3,835
	カタ	3,358	3,696	3,696	3,620	16,196		3,379	3,579	4,059	3,659	4,856		
	カタバラ	2,147	2,192	2,881	2,388	1,849		2,350	2,918	2,924	2,897	1,457		
	マエセット	-	-	-	-	804		-	-	-	-	-		
	ヒレ	8,424	9,693	10,800	9,580	1,660		9,180	9,720	10,260	9,662	1,366		
	ロイン	5,886	6,372	8,813	6,701	1,448		4,712	5,292	5,400	5,257	2,875		
	ロインセット	4,908	6,625	9,936	7,316	3,240		-	-	-	-	544		
	トモバラ	1,944	2,376	2,568	2,271	13,378		1,890	3,042	3,348	2,717	8,552		
	ウチモモ	4,150	4,293	4,458	4,290	3,567		3,791	4,320	4,320	4,235	1,929		
	シントアマ	3,888	4,212	4,789	4,260	3,004		3,704	4,320	4,320	4,190	1,951		
	ランイチ	3,942	4,212	4,428	4,274	3,456		3,882	4,320	4,320	4,207	1,850		
	ソトモモ	3,240	3,838	4,400	3,702	2,399		3,617	3,627	4,104	3,657	1,036		
	スネ	1,894	1,944	2,322	2,009	2,885		2,028	2,031	2,182	2,064	2,708		
	モモセット	3,983	4,061	4,093	4,053	9,416		3,389	3,618	3,857	3,588	11,679		
	セット	3,456	3,801	4,261	3,874	32,755		3,348	3,456	4,155	3,578	8,743		
	重量合計						104,618							55,708
中京圏	カタロース	-	-	-	-	608	九州圏	3,510	3,672	3,888	3,655	1,068		
	カタ	2,953	3,078	3,240	3,065	1,488		-	-	-	-	893		
	カタバラ	2,160	2,823	3,078	2,796	1,207		-	-	-	-	472		
	ヒレ	-	-	-	-	252		-	-	-	-	245		
	ロイン	-	-	-	-	307		-	-	-	-	204		
	トモバラ	1,771	1,836	3,078	1,977	1,944		1,728	1,836	2,268	1,880	2,806		
	ウチモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	291		
	シントアマ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	672		
	ランイチ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	315		
	ソトモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	233		
	スネ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	414		
モモセット	-	-	-	-	916	-	-	-	-	-				
セット	3,408	3,888	5,050	4,118	1,528	3,051	3,197	3,624	3,311	2,103				
重量合計						8,250							9,716	

(令和7年8月24日～8月30日)

交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,506	2,700	2,979	2,705	7,855	近畿圏	2,824	3,076	3,348	3,118	11,029	
		カタ	2,295	2,677	2,861	2,676	8,942			2,413	2,473	2,658	2,503	7,423
		カタバラ	1,901	2,375	2,808	2,488	4,166			1,512	1,570	1,595	1,577	3,386
		ヒレ	5,940	5,998	6,480	6,114	2,712			6,480	6,801	7,020	6,819	2,144
		ロイン	4,197	4,443	4,710	4,400	1,708			3,955	4,536	4,788	4,417	6,903
		トモバラ	1,944	2,592	3,348	2,767	9,831			1,512	1,620	2,250	1,772	10,032
		ウチモモ	2,408	2,565	2,699	2,554	4,092			2,376	2,484	2,700	2,513	3,326
		シントアマ	2,506	2,570	2,899	2,636	3,237			2,430	2,646	2,808	2,631	3,221
		ランイチ	2,561	2,614	2,764	2,637	2,945			2,549	2,592	2,700	2,613	4,056
		ソトモモ	2,160	2,160	2,215	2,170	2,853			2,160	2,376	2,469	2,354	4,215
		スネ	1,536	1,620	1,705	1,619	2,722			1,512	1,620	1,729	1,632	4,285
	モモセット	-	-	-	-	-		2,538	2,699	2,905	2,735	8,797		
	セット	2,611	2,905	3,189	2,897	20,221		3,024	3,048	3,132	3,054	45,187		
	重量合計						71,284							114,004

乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,613	2,891	3,687	2,987	3,380	近畿圏	2,290	2,523	3,073	2,654	4,803	
		カタ	-	-	-	-	507			1,669	2,017	2,333	2,009	3,520
		カタバラ	-	-	-	-	155			-	-	-	-	-
		三角バラ	-	-	-	-	-			-	-	-	-	857
		ブリスケット	-	-	-	-	-			1,296	1,372	1,458	1,365	2,829
		ヒレ	5,192	5,400	5,616	5,368	1,519			4,860	5,130	5,886	5,244	1,716
		ロイン	3,165	3,289	3,780	3,293	1,277			3,240	3,240	3,780	3,354	3,542
		トモバラ	1,512	2,722	3,294	2,826	2,815			1,188	1,741	2,138	1,757	4,619
		ウチモモ	2,117	2,214	2,273	2,197	1,660			1,998	1,998	2,160	2,016	6,340
		シントアマ	2,110	2,216	2,268	2,189	1,772			1,728	1,944	2,052	1,935	1,751
		ランイチ	2,110	2,198	2,268	2,175	2,013			1,836	1,944	2,160	1,980	2,325
		ソトモモ	1,149	1,210	1,998	1,487	1,116			1,944	2,052	2,160	2,029	1,741
		スネ	1,512	1,512	1,674	1,534	1,884			1,566	1,618	1,822	1,607	3,181
	セット	2,529	2,529	2,533	2,530	20,407		1,819	2,008	2,021	1,939	28,262		
	重量合計						38,505							65,486

洋総菜製品7月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年7月 対象店舗数:1,069店舗 品目合計:5億449万3,961円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	石井食品 イシイのおべんとクン ミートボール 120g×2	21,471,820	77,589	276.7	4.3	3.7	45.4
2	日本ハム 石窯工房 マルゲリータミニピザ	14,046,087	49,175	285.6	2.8	2.4	75.1
3	日本ハム とろける4種チーズハンバーグ 246g	13,626,018	45,398	300.2	2.7	2.2	81.0
4	伊藤ハム ピザガーデンマルゲリータ 1P	13,515,960	59,039	228.9	2.7	2.8	52.5
5	日本ハム 石窯工房 あら挽きソーセージ 3枚	12,501,739	44,074	283.7	2.5	2.1	79.1
6	マルシンフーズ マルシンハンバーグ 3P 75g×3	11,488,594	43,527	263.9	2.3	2.1	51.9
7	伊藤ハム ピザガーデンベーコン 1P	9,316,889	40,828	228.2	1.9	2.0	52.9
8	日本ハム 石窯工房 マルゲリータ	9,104,679	33,659	270.5	1.8	1.6	58.2
9	シジシージャパン Vパック チキンナゲット 350g	7,890,823	26,996	292.3	1.6	1.3	29.8
10	日本ハム チキチキボン 124g	7,846,473	28,235	277.9	1.6	1.4	62.2
11	丸大食品 お弁当てりやきミートボール 70g×3	7,517,492	38,786	193.8	1.5	1.9	52.2
12	日本ハム 厚切りピッツアブレッド 4枚	6,602,291	21,780	303.1	1.3	1.1	53.7
13	伊藤ハム 鉄板焼きハンバーグ2個入り 120g	5,927,898	17,740	334.2	1.2	0.9	46.7
14	石井食品 イシイのおべんとクン ミートボール 120g	5,889,119	38,827	151.7	1.2	1.9	49.2
15	石井食品 ミートボール 120g×3	5,859,771	15,134	387.2	1.2	0.7	13.2
16	日本ハム 石窯工房シャウエッセンピザ	5,715,843	21,077	271.2	1.1	1.0	55.3
17	日本ハム マルゲリータピザ	5,692,920	26,758	212.8	1.1	1.3	30.0
18	伊藤ハム ラピッツァ マルゲリータ 1枚	5,612,449	19,700	284.9	1.1	1.0	30.1
19	イオントップバリュ TV ベストブライス チキンナゲット 180g	5,530,247	19,279	286.9	1.1	0.9	12.4
20	伊藤ハム ピザガーデンチーズ 1P	5,489,486	24,110	227.7	1.1	1.2	38.9
21	伊藤ハム ラピッツァグラントアルトバイエルン 1枚	5,212,053	18,879	276.1	1.0	0.9	40.8
22	丸大食品 チキンハンバーグ 69g×3	4,971,126	23,598	210.7	1.0	1.1	74.3
23	プリマハム スパイシーチキン 260g	4,908,061	17,906	274.1	1.0	0.9	56.2
24	滝沢ハム デミグラス味ハンバーグ 150g	4,877,227	48,156	101.3	1.0	2.3	46.1
25	日本ハム ふんわり生地のアメリカンドッグ6本入 300g	4,712,771	16,184	291.2	0.9	0.8	53.4
26	マルシンフーズ お買得ハンバーグ 75g×4	4,490,381	13,534	331.8	0.9	0.7	12.8
27	伊藤ハム 旨包デミグラスソースハンバーグ 220g	4,353,606	13,119	331.9	0.9	0.6	40.8
28	日本ハム 石窯工房 4種のチーズピザ	4,312,064	16,587	260.0	0.9	0.8	41.9
29	滝沢ハム チーズデミグラスハンバーグ 150g	4,110,874	40,991	100.3	0.8	2.0	41.5
30	日本ハム うずら卵を包んだ肉だんご 204g	4,079,985	13,199	309.1	0.8	0.6	66.0
31	日本ハム チキチキボン 165g	4,071,112	11,456	355.4	0.8	0.6	20.5
32	日本ハム シャロウワズ 124g×2	4,020,457	13,985	287.5	0.8	0.7	49.0
33	丸大食品 楽しいお弁当ミートボール 65g×3	3,979,753	20,240	196.6	0.8	1.0	48.6
34	シジシージャパン ナン 95g×2	3,880,828	20,495	189.4	0.8	1.0	29.1
35	伊藤ハム ピザガーデン てりやきチキン 1枚	3,850,540	17,423	221.0	0.8	0.8	34.8
36	丸大食品 チキンナゲット 260g	3,700,578	13,459	275.0	0.7	0.7	20.1
37	日本ハム ソーセージピザ	3,660,995	17,749	206.3	0.7	0.9	29.0
38	マルシンフーズ ハンバーグ 75g	3,610,889	34,524	104.6	0.7	1.7	44.3
39	日本ハム 極み焼和風おろしハンバーグ 220g	3,550,591	11,972	296.6	0.7	0.6	44.1
40	シジシージャパン Vパックデミグラスハンバーグ R 120g	3,495,536	12,159	287.5	0.7	0.6	28.3
41	日本ハム 極み焼デミグラスハンバーグ 220g	3,468,888	11,668	297.3	0.7	0.6	42.7
42	イオントップバリュ トップバリュ ミートボールテリヤキソース96g×3	3,383,306	13,781	245.5	0.7	0.7	9.5
43	シジシージャパン Vパック和風おろしハンバーグ R 110g	3,376,705	11,771	286.9	0.7	0.6	27.5
44	伊藤ハム コロコロチキン 120g	3,267,918	12,541	260.6	0.7	0.6	53.6
45	石井食品 ニチリュウミートボール3個束 120g×3	3,211,040	8,479	378.7	0.6	0.4	4.8
46	日本ハム ナードッグとろけるチーズ&カレー 3個	3,086,537	10,467	294.9	0.6	0.5	39.9
47	日本ハム 石窯工房 ドルチェポルコベーコンピザ	3,076,527	11,756	261.7	0.6	0.6	31.2
48	日本ハム チキチキボン 220g	2,854,973	6,340	450.3	0.6	0.3	5.6
49	伊藤ハム チキンナゲット超大容量ジッパー 610g	2,846,670	4,721	603.0	0.6	0.2	8.0
50	日本ハム チキチキボン 丸かじりチキボン	2,767,047	9,918	279.0	0.6	0.5	30.4

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 9月9日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,566	2,587	2,061	-	-
		安値	2,034	2,010	1,728	-	-
		平均	2,646	2,102	1,941	-	-
	72頭	頭数	42	24	6	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	1,080	-
	1頭	頭数	-	-	-	1	-
	去 A	高値	3,452	2,223	2,096	-	-
		安値	2,053	1,847	1,944	-	-
		平均	2,444	2,065	1,982	-	-
	213頭	頭数	121	65	27	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	1,933	-	-	1,190	-	
2頭	頭数	1	-	-	1	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	11頭	平均	-	1,606	1,457	1,343
		頭数	-	1	7	3	-
	雌 C	-頭	平均	-	-	-	-
	頭数	-	-	-	-	-	
去 B	14頭	平均	-	1,612	1,575	1,417	
	頭数	-	6	5	3	-	
去 C	-頭	平均	-	-	-	-	
頭数	-	-	-	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	384 382	682 935	- 58.5	(競り)	(相対)	
				-	18	54

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,595	2,261	1,959	-	-
	B	-	-	1,467	1,277	1,172
和 去	A	2,474	1,972	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	1,058	976
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,456	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	919	959	927	756	673
	安値	727	681	637	518	367
	平均	808	727	702	655	548
	頭数	(4)	(278)	(319)	(180)	(154)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	593
	安値	-	-	-	-	522
	平均	-	-	-	-	590
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(18)

[大阪食肉卸売市場] 9月9日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,524	2,186	-	-	-
(頭数)	(16)	(4)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)
和 去 A	2,529	2,059	-	-	-
(頭数)	(31)	(11)	(1)	(-)	(-)
B	1,956	1,793	-	-	-
(頭数)	(1)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,740	1,524	1,474	-
C	-	-	1,458	-	-
交雑去 B	-	1,768	1,595	1,553	-
C	-	-	1,513	-	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	9月9日	9月8日	(9月累計)
豚	61,900	61,900	419,900
成牛計	4,610	4,770	31,070
和牛雌	1,160	1,000	7,160
和牛去勢	1,290	1,640	8,340
乳牛雌	910	390	4,920
乳牛去勢	470	500	3,090
交雑雌	380	550	3,670
交雑去	380	680	3,810

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 9月9日

	1,450円	(前日 1,454円)
東京		
大阪	1,544円	(前日 1,580円)

[豚・全農建値] 9月9日

上	中	取引頭数	市況
711円	688円	1,018頭	急伸

と畜 売買	牛 86頭	豚 107頭	牛概況	もちあい
	牛 105頭	豚 45頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 9月9日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	691 (691)	- (-)	5,827	-	もちあい
仙台 [中]	671 (701)	625 (671)	463	75	反落
栃木 [地]	- (-)	- (-)	1,454	-	休市
茨城 [地]	679 (672)	633 (652)	1,272	747	続伸
群馬 [地]	718 (699)	623 (574)	1,977	226	反発
さいたま [中]	713 (709)	692 (686)	193	195	小幅続伸
東京 [中]	727 (675)	702 (662)	682	935	反発
横浜 [中]	695 (711)	670 (664)	618	619	反落
山梨 [地]	749 (-)	736 (-)	111	63	品薄高
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	715 (712)	678 (672)	907	233	もちあい
京都 [中]	710 (713)	691 (706)	88	94	もちあい
大阪 [中]	- (644)	- (665)	107	45	まちまち
神戸 [中]	795 (-)	808 (-)	-	149	-
岡山 [地]	662 (660)	646 (647)	255	225	もちあい
広島 [中]	667 (-)	617 (-)	195	43	上伸
福岡 [中]	648 (655)	613 (611)	474	124	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 9月2日～9月8日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,443,264 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,239	1,392	1,430	1,375	56,162
うで	810	902	930	894	105,476
ロース	1,178	1,311	1,359	1,287	109,369
ばら	1,281	1,402	1,436	1,389	133,824
もも	751	810	877	819	162,215
ヒレ	1,200	1,372	1,488	1,377	12,293
セット	989	1,107	1,172	1,086	863,925

◇近畿圏 総重量 622,037 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,334	1,458	1,513	1,449	46,183
うで	788	821	896	839	102,130
ロース	1,231	1,296	1,385	1,305	86,070
ばら	1,382	1,422	1,490	1,422	99,455
もも	784	825	896	834	146,465
ヒレ	1,268	1,354	1,512	1,375	9,036
セット	994	1,070	1,178	1,075	132,698

[食鳥正肉日経相場] 9月8日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	677	761	967	194
ムネ	520	575	721	152

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	677	758	1,030	3
ムネ	515	551	650	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 9月8日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,040	792	550	600	650
安値	610	532	290	360	350
平均	776	589	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる
数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全
日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

**銘柄牛肉
ガイドブック**

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

**銘柄豚肉
ガイドブック**

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、
最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願い致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする
今さら聞けない肉の常識

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

平野正男 鏡 晃 著 A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ
牛枝肉・牛部分肉の見方
牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版
牛枝肉・部分肉の
分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする
食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳
DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します